

2002年度の活動のハイライト

信頼性の向上を目指して

「企業倫理規程」の施行

社会から、より信頼されるコスモ石油グループを目指して、「企業倫理規程(企業行動指針)」を制定し、2003年4月1日に施行しました。 P.7

環境会計のシステム化

環境会計のシステム化を完了し、2003年度より運用を開始しました。 P.41

第三者意見

活動や報告内容に対する所見として、後藤敏彦様による「第三者意見書」を掲載しています。 P.53

石油事業における活動

低硫黄軽油の発売

2003年4月から硫黄分50ppm以下の軽油を全国(沖縄、離島を除く)に向けて供給開始しました。 P.13

触媒の長寿命化

重油直接脱硫装置に使用する高活性触媒を開発し、2002年11月より千葉製油所で実証化試験を行いました。 P.12

汚泥減容化システム

坂出製油所では、汚泥減容化システムの実証化試験を行いました。その結果、排水処理装置の最終汚泥量を年間約400トン削減できる見込みです。 P.12

総合エネルギー事業の展開

IPP(電力卸供給)事業を開始

三重県四日市市の霞地区に20万kWの発電所を建設し、2003年7月より営業運転を開始しました。 P.15

GTL触媒の開発

GTL(Gas To Liquid)触媒の開発を行い、国内で初めてGTL技術による液体燃料の製造に成功しました。 P.15

燃料電池用水素製造技術の開発

「水素・燃料電池実証プロジェクト」に参画し、

2003年3月、燃料電池自動車用「水素供給ステーション」を横浜に開設しました。

分散型電源である「定置型燃料電池システム」の開発において、当社独自の改質触媒を用いた水素製造装置を開発し、デモ運転を実施しました。 P.15

お客様や社会と一体になった活動

コスモ・ザ・カード「エコ」の活動

2002年4月、お客様とともに環境保全を推進することを目的に、コスモ・ザ・カード「エコ」を発行しました。2002年度末には、会員数は約5万6千名になり、「パプアニューギニアの熱帯雨林保全活動」等に寄付を行いました。 P.33

排出権利用の試み

2002年9月にオーストラリアの植林会社から24,000トンのCO₂排出権を購入し、以下の企画を実施しました。

・CO₂フリーガソリン

2002年12月、コスモ・ザ・カード「エコ」会員の方々が給油したガソリンから発生するCO₂に排出権を充当し、CO₂フリーガソリンとしました。

・二酸化炭素吸収証書の販売

CO₂が引き起こす地球温暖化問題について、社会の皆様とともに考える機会として、「二酸化炭素吸収証書」を販売しました。売上は、環境保全活動に役立てます。 P.34

環境広告

多くの方々に環境問題に関心を持っていただくため、環境広告の比率を増やしています。 P.38

外部評価

「コスモ石油環境報告書2002」と「グリーンレポート2002」のアンケートに対し、多数の読者の皆様から当グループの環境問題への取り組みを評価できるとご回答いただきました。

読者アンケート裏面

国際的な社会的責任投資株価指数であるFTSE4Good Global Indexに、日本の石油企業として初めて組み入れられました。 P.38